

これからの授業づくり

with 授業改善ハンドブック「授業をつくる16の視点」

今回の学習指導要領の改訂におけるキーワードから、これからの授業づくりのポイントを紹介いたします。「授業をつくる16の視点」は、私たち授業者にとっての「不易」です。ハンドブックを手にとって自分の授業を振り返ってみましょう。授業改善ハンドブックは、福島県教育センターのホームページからダウンロードできます。 <https://center.fcs.ed.jp/>

資質・能力の育成のために

子供たちに育みたい「生きる力」がより具体化され、育成を目指す資質・能力は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱に整理されました。

これらの資質・能力を育成するポイントとして、右の4点が示されています。これらのキーワードを基に、これからの授業づくりについて考えてみましょう。

「社会に開かれた教育課程」の実現

地域の未来の創り手として必要な資質・能力を育むには、学校と地域の連携・協働が欠かせません。そのためには、学校としてどんな子供を育てようとしているのかを、様々な機会を捉えて、保護者や地域に発信していくことが必要になります。また、担任として、授業や宿題等についての考え方（子供たちが何をどのように学び、どんな資質・能力を身に付けていくのか）を説明していくことも大切です。

Let's check with the handbook !

- 授業や宿題、テスト等の目的を明確にして、子供たちや保護者に伝えていますか。



「カリキュラム・マネジメント」の実現

カリキュラム・マネジメントとは、学校で行われる教育活動を直し、組織的、計画的に改善していく営みのことです。

日々の教育活動を学校の教育目標の達成に結び付けることが大切です。授業者としては、子供たち学びの姿から授業を振り返り、PDCAサイクルを回して授業改善に取り組むことが大切です。

育みたい力が明確ならば、自ずと教科等横断的な視点が生まれ、地域の人材や資源を生かした授業が生まれていくはずですよ。

Let's check with the handbook !

- 子供の実態を把握し、授業に生かしていますか。
- 授業中の子供の姿を見取って、授業改善に生かしていますか。
- ねらいと活動・内容とのつながりを考え、単元全体を見通した計画を立てていますか。

- ① 「社会に開かれた教育課程」の実現
- ② 「カリキュラム・マネジメント」の実現
- ③ 主体的・対話的で深い学びの視点
- ④ 学習評価の充実



学習評価の充実

日々の授業を通して、育成を目指す資質・能力が、確実に身に付いたのかを捉えていく必要があります。

授業者には、見取りに基づく子供たちへの適切なフィードバックが求められます。評価を指導に生かせるかが、教師の腕の見せ所とも言えます。「指導と評価の一体化」を推し進め、資質・能力の育成に努めましょう。

Let's check with the handbook !

- 活動と評価は、ねらいにふさわしいものですか。
- ねらいに沿った評価規準を設けていますか。
- 学習評価を授業の改善に生かしていますか。
- 個人差を受け止め、子供一人一人に応じた指導や支援をしていますか。

主体的・対話的で深い学びの視点

主体的・対話的で深い学びとは、授業の方法や技術の改善のみを意図するものではなく、子供たちに目指す資質・能力を育むための授業改善の視点であるとされています。

子供たちが「どのように学ぶか」を考えるということは、私たち教師の側から見ると「どんな授業をつくってあげようか」を考えるということになります。子供たちの学びの姿から自分の授業の改善点を見いだしていくことが大切です。

「見方・考え方」を働かせやすい学習課題や場面設定、対話場面や振り返りの位置付け等、指導方法を工夫しましょう。また、内容や時間のまとまりを考えて単元や授業を構想したり、育成を目指す資質・能力を、どの教科のどの場面で育むのか考えていくことも大切です。

主体的・対話的で深い学びの実現には、日々の教材研究が欠かせません。

Let's check with the handbook !

- ねらい（育成を目指す資質・能力）を明確にしていますか。
- 学習課題は、子供にとって追究する価値のあるもの・意欲がわくものですか。
- 対話的な学びにつながる伝え合いや話し合いなどの言語活動を組み入れていますか。
- 子供の気持ちに寄り添い、深い学びにつながるコーディネートをしていますか。
- 「共有」「吟味」の活動など、理解を深めたり新たな考えを生み出したりする活動を設けていますか。
- 子供たちが成長を自覚し、次の学びに向かう振り返りができていますか。
- 学習内容の系統性を把握していますか。
- 学級集団づくりを大切にしていますか。
- 板書や発問、ノートづくり等、基本的な授業要素を踏まえていますか。